



HOP STEP JUMP

平成 29 年 4 月 13 日 (木)

平成 29 年度 「感謝」からのスタート!

平成 29 年度がスタートしました。

4月6日(木)の就任式・始業式の日には、2・3年生の皆さんの姿に感動しました。就任式の初めに、思わず、みんなに「ありがとう」ということばが出ました。

この日は、8時20分までに登校、8時30分から就任式を行う予定でした。しかし、8時15分に体育館に行ってみると、すでに全員が登校し、きちんと整列して静かに式が始まるのを待っていてくれました。進級した2・3年生の、落ち着いた姿、それでいて、頑張るぞという意欲に満ちた表情を見せてもらい、心が揺さぶられました。

このみんなの素晴らしい姿をみて、これは、予定していた8時30分から就任式を始めるなどできない、すぐに就任される先生方に体育館に来てもらい、式を始めなければ、皆のこのがんばりに答えることはできないと思い、時間を10分早めて就任式をスタートしました。

なんと気持ちのよい新年度のスタートでしょう。皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。

ご入学、おめでとうございます。

4月7日(金)、71回目の吉浦中学校入学式を皆様のおかげをもちまして無事に挙行することができました。ありがとうございました。

本年度は、男子28名、女子27名の55名の新入生を迎えることができました。

新入生の皆さん、新入生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

中学校という新しい世界に入ってきた皆さん、期待とともに不安もあるというのが今の正直なところではないですか?でも、不安を持つのは当たり前のことです。皆さんに態度・姿勢でお手本を示してくれた2年生・3年生の先輩も皆さんと同じように入学したときは同じように不安な気持ちを持っていました。でも、今は吉浦中学校を立派に背負ってくれるほど、大変頼もしく、たくましい存在へと成長してくれています。1年・2年という時間とともに、本当に立派な中学生へと成長していきます。新入生の皆さんにも少しでも早く「吉浦中学校で、勉強・部活・行事などをがんばって、素晴らしい思い出を作っていくぞ」と思ってもらえるよう、私たち先生と良き先輩達が一生懸命サポートしていきます。みんな、助け合い、支え合い、励まし合って吉浦中学校で送る学校生活を充実したものにしていきましょう。

就任式・始業式

吉浦中の伝統になってきた「4秒礼」も「話を聞く姿勢」も本当に素晴らしいです。ありがとうございます。



入学式

歩く姿も、座る姿勢も、初々しく、一生懸命さを感じました。新入生宣誓では、話し方、内容とも素晴らしかったです。



対面式

新入生を迎える先輩も、お礼の言葉を述べる新入生も一生懸命さがうれしかったです。



地域・保護者の皆様へ

今年度、吉浦中学校に赴任しました小林です。生徒が卒業式をむかえたときに「この吉浦中学校に通ってよかった」と心から思ってもらえるように、教職員一同全力で取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

稚心を去る 気を振る 志を立てる 学を勉める 交友を択ぶ

これはかの南洲西郷隆盛先生の思想にも多大な影響を与えた福井藩の橋本左内先生が、15歳の時に自分自身を励ますためにしたためたものです。

15歳というのは数え年であり、今の年齢にすると13, 4歳。中学2年生に当たります。

今から160年前、左内少年はこの若さで、幼さと甘えから決別し、決して誰にも負けない気概と、大志を立て、実現のため必死に学び、正しい道に導く良友を選ぶことを決意したのです。

人生の3分2以上を終えた？自分でさえ、左内少年の境涯に達していないのを恥じるばかりですが、この武士道を基盤にした普遍的なモノの考え方が、敗戦により廃れていったことが、今日の日本人ひいては我が国の自信の喪失につながっているのではと考えることがあります。

教育とは、個人が自立し将来生きていくため、そして社会に貢献するために必要不可欠なものであることは言うまでもありません。しかし単に実利的、功利的なものだけを追求させることであるならば、学校は必要ありません。

精神性をもって人格を形成させることこそが教育の本質であり、家庭が第一義的な責任を有し、それを補完するのが学校の役割であると考え、いまこそ我々大人が左内少年の初心に返り、それを踏まえ真剣に子どもたちに向かうことで、自信をつけさせ社会に貢献できる子どもたちを育てることができるのではないかと考えております。

どうぞ地域・保護者の皆様には、共に育てていくという視点で本校教育活動に更なるご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

校長 小林 浩樹